



引用：(一財) 消防防災科学センター「災害写真データベース」

達力では不足が生じるため、いかに迅速かつ的確に外部からの支援を受けるかが重要になると考え、既に本年2月には「高島市災害時受援計画」を策定し、市外からの応援職員や支援助物資等を円滑に受け入れ、最大限に活用するための体制を定めているところであります。

これまでから県に対し、災害時における湖上輸送の拠点となる県管理の公共港湾施設の整備を要望している他、国道161号の複線化のため、白鬚ルートの早期着工などの政策要望を行っており、今後

もこうした要望を継続するとともに、今回の能登半島地震やこれまでの訓練等で得た教訓をもとに、より一層の防災対策の強化に取り組んでまいります。

**問** 被災地支援に派遣された職員の経験と情報を活用すべきであると考えますがどうか。

**答** 市長

被災地での支援活動の経験を他の職員が広く共有することは、災害対応力を養うための重要な手段になるものと考えており、私自身も、平成28年4月に発生した熊本地震において、その後、全国市長会が開催されました会議に出席し、当時の熊本市長から被災直後の状況や、復旧、復興の経過報告等を聞かせていただき、極めて貴重な経験をしたところですので。そうしたことから、今回の能登半島地震を受けて、陸上・航空自衛隊の支援活動の経緯や、被災地支援に関わった市の職員が現地で

の経験を通して見たことや感じたことを共有し、今後の災害対応に活かすため、3月中旬には市役所の管理職約100名を対象に報告会を開催する予定です。また、他市町の支援活動等の情報共有についても、今後、県に提案する等、様々な機会を通じて職員の災害対応力の向上に繋げてまいります。

**問** 市の広域避難所に指定されている中学校体育館に非常用発電設備と空調設備を整備すべきであると考えますがどうか。

**答** 市長

体育館には空調設備がなく、夏や冬の厳しい環境下で避難所を開設する場合には、市が備蓄をしておりますスポットクーラーやストーブ等で温度調節を行い、場合によっては冷暖房設備のある教室に移って避難していただくというのが、これまでの基本的な考え方としてるところ

です。

しかしながら、全国各地での災害時における避難所の状況を見る中で、避難が長期的かつ大規模になる場合には、避難所の環境改善を図る必要があることも課題と認識しているところです。そうした中で、各中学校体育館への空調設備の整備について、極めて貴重なご提案であり、国が進める防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策の期限が令和7年度までとなっていること等を踏まえ、是非とも向きに検討してまいります。



引用：(一財) 消防防災科学センター「災害写真データベース」